

令和4年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第60回）の開催にあたって



令和4年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第60回）
学会長 須田 達也

令和4年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第60回）を担当させていただき一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会を代表してご挨拶申し上げます。

本学会は新型コロナウイルス感染症が終息に至っていないことを考慮して、令和4年10月8日（土）、9日（日）の両日に静岡県沼津市にありますプラサヴェルデを会場とした開催および後日オンデマンド配信の組み合わせの開催といたしました。

近年、甚大な災害や新型コロナウイルス感染など予期せぬことが起こっています。その対応・対策をするとともに、平成26年・令和3年と臨床検査技師に関する法改正がされ、特に医師の働き方改革の推進については、2年後には全ての医療機関において対応が求められています。我々臨床検査技師はタスク・シフト/シェア推進に取り組み、臨床検査技師の活躍の場の拡大する必要があります。また、医療ロボットやAI導入などの医療情勢の変化を捉え、多様なニーズに対応することが重要となっています。

そこで本学会では、「Go to the NEXT ONE！ ～ふじのくにに集い 今と未来を考える～」をテーマに掲げ、ふじのくにがこれから向かう先を模索する場になり、次への一歩、更なる発展へと繋がればと考えております。また、日臨技企画・基調講演・特別講演・支部シンポジウム・一般演題（123演題）・部門別企画（9部門）・特別企画・ランチョンセミナーなどの企画を用意しております。特にシンポジウムでは様々な施設規模の方から現状・今後について語っていただき、我々臨床検査技師や検査室の未来を考える機会となり、次に繋がる何かを感じ取っていただければと思っております。

最後に、日臨技中部圏支部の会員の皆様には、多数の一般演題の登録を頂いたこと、賛助会員や企業の皆様には多方面でのご協力を頂いたことに深く感謝申し上げます。実行委員一同、多数の会員の皆様にご参加頂けることを心よりお待ちしております。